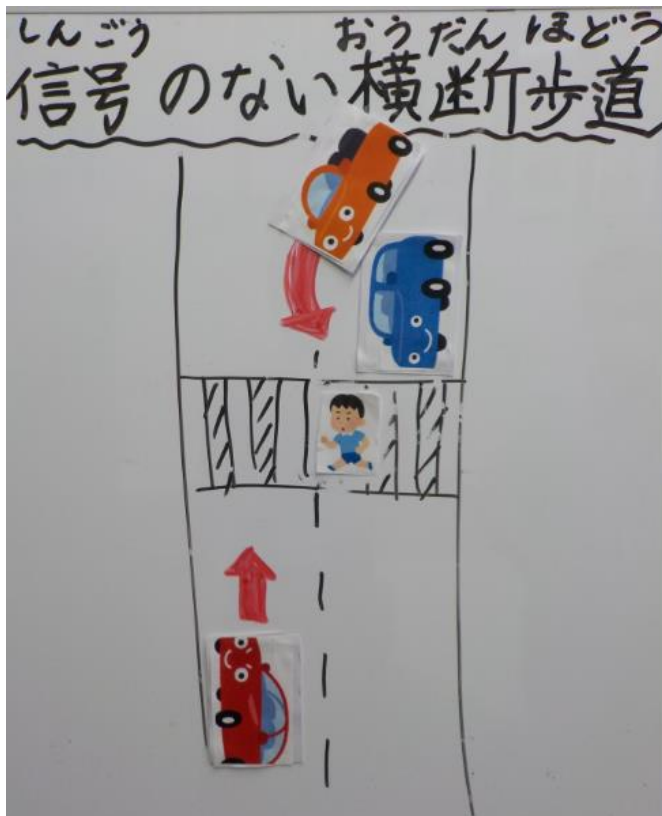


みずくらいど

校長 加藤雅弘

しんごう 信号のない「おうだんほどう 横断歩道」があぶない！



せんしゅう 先週の土曜日、またていがくねん 低学年の交通じこがあ
ったんだって。ずいぶん続くね。信号のない横断歩道をわたっていて、じこにあった
らしいよ。

ちょうかい 朝会では、止まってくれた車がいた時も、
ゆだんしてはいけないって言ってたね。
はんたいがわ 反対側の車線から走ってくる車が止まって
くれるとはかぎらないからだったね。

さらに、止まってくれた車をおいこして
くるばあいもあるって、おそろしいね。
わたっているさいちゅうも、つねに左右
を見るしかないね。

上記のイラストは、月曜日のズーム朝会で伝えたうちの一つです。7月3日千葉県で片側1車線、信号のない横断歩道で低学年ぐらいの児童がはねられたとのネットニュースを日曜日に見つけました。そのニュースのコメント欄を読んでいると、下のようなものが多数ありました。「自分はふだんから横断歩道で止まっているが、反対車線の車は通りぬけようとして、ぶつかりそうになった。対向車がなんとか止まってくれて事なきを得た。かえって止まらない方がよかったと思うぐらいこわかった」「自分が横断歩道で止まると、なんと後ろの車が追い越しをかけてきた。走って渡ろうとしていた子供とぶつかりそうになった。」

これを読んで、信号のない横断歩道にひそむ危険を児童に伝えなければと考えました。私も北千住の信号のない横断歩道で、上と同じ体験をしたことがあります。夏休み地方に行くと、このような場面がさらに増えるかもしれません。ぜひ、親子でもう一度命を守る行動について確認していただければ幸いです。

臨時保護者会「夏休みに課題」補足説明

7日の保護者会の質疑の中で「全学年に一律の課題がある」という説明をしてしまいましたが、間違いでした。高学年で自分の課題を見出せない場合、それぞれの学習状況を児童と担任で確認、相談などをした上で、ベーシックドリルなどの中から適したものを選んで課題としていく予定です。お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。